

AGUD・P Library Letter

平成29年 7月利用状況

平成29年8月1日

(1)開館日数及び入館者数

(昼間・9:00～17:30、夜間・17:30～20:00)

	開館日数		入館者数		
	昼間	夜間	昼間	夜間	合計
楠元	30	20	21,714	2,452	24,166
末盛分室	23	20	776	150	926
合計	—————		22,490	2,602	25,092

学外利用者(登録なし)	楠元	8
	末盛分室	0

(2)帯出人数

	教職員	学生	その他登録者	合計
人数	71	254	26	351

帯出人数「学生」のうち :人

歯学部学生	薬学部学生	短大生
124	63	21

(3)帯出冊数

	教職員	学生	その他登録者	合計
冊数	160	465	74	699

(4)-1文献相互貸借依頼件数 (4)-2図書・雑誌貸借依頼件数

	件数			件数	
学外受付	55	(32)	学外貸出	0	(0)
学外依頼	24	(4)	学外借受	0	(0)
合計	79	(36)	合計	0	(0)

※()内数字は大学図書館以外

(4)-3CAN図書貸借依頼件数 (4)-4学内図書貸借依頼件数

	件数		件数
学外貸出	0	学内貸出	13
学外借受	1	学内借受	2
合計	1	合計	15

ついに梅雨も明け、夏がやってきました。夏の代表的な風物詩、花火大会も各地で行われています。日本の花火の歴史に関しては諸説ありますが、『駿府政事録』『武徳編年集成』等の書物によると、現代の花火に繋がる花火を一番初めて見たのは徳川家康とされています。徳川発祥の地である岡崎を中心とした三河地方は、江戸時代、徳川幕府によって唯一火薬の製造・貯蔵を公式に許可されていた土地です。そのような歴史から、花火は岡崎を中心とした三河地方に普及・発達しました。

岡崎の花火大会(岡崎城下家康公夏まつり)は毎年8月の第一土曜日に開催されます。一度足を運ばれてみてはいかがでしょうか。